



## 「8・6平和のつどい」開催される！その3

テーマ **「あれから80年 現在、そしてこれから…～いま私たちにできることは～」**

参加者からのメッセージのつづきです。

○毎年、8月6日に集まって平和について考えることができる時間にさせていただいています。今年も各パートの人々がそれぞれの形で平和について表現されていて学びになりました。(30代の参加者からのメッセージ)



○子ども連れでも参加しやすい構成になっていて良かった。古い資料や映像で作成していたので当然ですが、ドキュメンタリーの映像は少し見づらかったです。それでも初めて知ることも多かったので、良い学びのきっかけになりました。ありがとうございました。お疲れさまでした。(30代の参加者からのメッセージ)

○昨年まで海上自衛官でした。地域の平和と安全のために様々な任務に従事しましたが、平和と兵器の矛盾に常々葛藤していた日々を思い出します。自分以外の隊員もそのような気持ちで仕事している人も少なくなかったのではないかと思います。自衛隊は政治で動いており、政治に従って働くほかありませんでした。集団的自衛権、存立危機事態という名のもとに、中国とアメリカが戦争を始めたら日本は中国に先制攻撃をするというシナリオを知った時、「何かおかしい」と思いました。日本が中国を攻撃し、当然中国は日本に反撃し、多くの日本人が死にます。このようなシナリオを作っているのは今の政治です。そしてその政治を選んでいるのは国民です。今日の平和のつどいに来ているみなさんは、平和を心から強く願う方々だと思いますが、今日この場にはいない人々にこそ知ってもらわなければならないと思います。何も知らず、社会を変えられないと思っている人々が多すぎると思います。本日はありがとうございました。(30代の参加者からのメッセージ)

○初めての参加でしたが、色々な人の想いや熱意を感じることができ良かったです。戦争体験者の方にお話を聞く機会の多い私ですが、ほとんどの方が仰る言葉があります。「あんな体験は私達世代で最後にして欲しい」と。先人や祖先たちの平和への想いに触れた時に、私たちは改めて日々の有難さを感じるべきだと感じます。「過去を知って、今を生きて、未来を創ろう！」(30代の参加者からのメッセージ)

### 【読み聞かせグループ裏話】

原爆投下70年の平和祈念コンサートのために、那須さんは、「やくそく」の原作「ばあちゃんの詩」と、「ふるさとの詩」の2つの詩を書かれました。「ふるさとの詩」には冬木透さんが曲を付けられたとのことで、皆、「『ふるさとの詩』が聞きたい！」という気持ちを抑えられなくなりました。そこで、那須さんに依頼された広島文化財団の山本真治さんを探しあて、やっと「くずれぬ平和ちかうまち～」の優しく美しい歌に辿りつくことができたのです。

子どもたちの平和絵本に向き合い、工夫して表現する姿に感動しました。また、今年から加わった子どもたちも含め、1歳から17歳の子どもたち同士が温かい声掛けでつながって行く姿が素敵でした。



NO.25 につづく

わからないこと・困ったことがあったら… 何でも気軽にお問い合わせください！

///JTU 北九州市教職員組合 〒802-0072 小倉北区東篠崎3丁目4-1

E-mail:jtuhokyu@lime.ocn.ne.jp

北九州教育会館 TEL (093) 953-0381

